

と



し

ま

2025年度 No.1



うさびよん

徳島地検ニユ〜ス！

今回は、令和7年4月に徳島地方検察庁に採用された6名にインタビューしたよ！

まず、①の質問について、簡単に答えてね。お願いします！

【インタビュー内容】

- ① 入庁前と現在の検察庁のイメージを教えてね。
- ② 約10か月働いて、心に残ったことはあるかな？
- ③ 未来の後輩へ一言！！

Bさん

【入庁前】ゴリゴリの体育会系で職場の雰囲気も殺伐としている。怖い人が多いかも…。休みが取りにくい。

【現在】先輩上司も優しく落ち着いた方が多く、(職務の性質上)適度な緊張感もありつつ、温かい雰囲気でバランスが良い。仕事で分からないことがあれば懇切丁寧に教えてくれる。仲良くなった同期や先輩と定期的にご飯に行くこともある。有給も取得しやすく、仕事もプライベートも充実できている。

Fさん

【入庁前】堅苦しい。

【現在】アットホームな雰囲気があって、働きやすい。

Dさん

【入庁前】体育会系で厳しい上、職務内容も専門的な知識が多く、難しい。

【現在】風通しが良く、明るい雰囲気の職場。専門的な知識が必要でも、充実した研修制度がある上、先輩職員の方々が丁寧に指導してくれるので、安心して働くことができる。

Aさん

【入庁前】体育会系の組織

【現在】柔軟性があり個人の多様な価値観が認められる組織

Eさん

【入庁前】堅い仕事なので静かで真面目な人が多い印象

【現在】フレンドリーで明るい方が多く、仕事で分からないことがあったり、悩みごとでも気軽に相談できる上司や先輩ばかりでとても働きやすい職場

Cさん

【入庁前】座談会や説明会で職員の皆様や先輩方とお話する機会があり、職員の皆様の優しさや温かさを感じ取っていた。入庁を志したのも、当庁の雰囲気の良さに惹かれたから。

【現在】想像を遙かに上回る良好な職場環境に大変驚いた。全職員が感謝と配慮の気持ちを持ち、各部署が連携協力して職務に従事する姿を見る度、当庁で職務に従事することに喜びを感じる。当庁は就職後の各種研修制度や支援体制が充実しており、業務を通し、スキルアップや知識習得を図ることができる。入庁当時は業務や法律知識がゼロの状態でしたが、業務内容や操作方法などを一から丁寧にご教授いただき、手厚いご支援を賜ったおかげで日々の業務を行えるようになった。



うさびよん

次は②の質問！ 約10か月働いて、心に残ったことはあるかな？

Aさん

上司においしい食事をたくさんご馳走していただいたことと、各課室から要望のあった物品を調達し、当庁の円滑な職務遂行に資することができたことです。

Fさん

どのように仕事を進めたらいいのかなと悩んでいたときに、上司や先輩から親切にアドバイスを頂き、そのアドバイスを元に試行錯誤を繰り返したことで、成長につながり、上司や先輩から少しずつ信頼されるようになったと思います。

失敗を恐れず、チャレンジを続け、成長へつなげることが大切だと思いました。

Cさん

初めて身柄事件(逮捕勾留が必要な事件)を受理した際、上司に丁寧に受理できている、見やすかったとのお言葉をいただけたことです。以来、事件を受理する度に上司から頂戴したお言葉を思い返し、丁寧かつ正確な仕事をする事を心掛けています。

また、様々な経験を積んでほしいと、医療観察や実刑収容に携わらせていただいたことです。私は検務部門の事件令状担当として職務に従事していますが、自分が受理手続に携わった事件、事故が報道されているのを見る度に、事件令状担当としてのやりがい、職務の重要性を実感しています。

Dさん

自分の担当業務だけでなく、他の担当業務とのつながりがあり、他の部門の方々と話す機会が多く、職員間の仲がとても良いと感じました。

また、1年目から事件の現地調査や関係者との面談等の責務を負う業務を経験できることは、やりがいのある魅力的な職場だと感じました。

Eさん

初等科研修に参加させていただいたことです。

初等科研修は、法律の知識を深めるだけでなく、他県の検察事務官の人たちと交流ができ、研修後も連絡を取ったりして、仕事をもっと頑張ろうというモチベーションに繋がったりしています。

※初等科研修：検察事務官が採用当初に受ける研修で、令和7年度は4月20日から5月23日までの間、法務総合研究所浦安総合センターにおいて、東京高等検察庁管内と高松高等検察庁管内と合同で実施されました。

Bさん

3つあります。

初等科研修は職員としての学びもありつつ、他地検の同期とも親交を深め、プライベートでも夏休みに遊びに行く程の関係になりました。

仕事の事で悩んでいたとき、先輩にご飯に連れて行ってもらって元気をもらったことです。勉強してきたことが、実務を通して実感できていることです。



うさびよん

次は③の質問！ 未来の後輩へ一言！ お願いします！！

Eさん

馴染みがない職種なので実際にできるのだろうかという不安もあると思いますが、先輩や上司が手厚くサポートしてくれたり、様々な研修に参加でき、本当に良い職場だなと思うのでぜひ入庁していただきたいです。

Bさん

入る前は、何も取り柄がない自分でもやっていけるのだろうか、と不安を感じていたが、職員の方も優しく指導してくださるし、自分の頑張り次第で、成長を図れる環境にあると感じました。

パソコンを使用する関係でタイピング練習も必要です。

悩みがあればいつでも相談に来てください！

Fさん

検察庁は、堅苦しいというイメージを持つと思いますが、検察庁の方々は親切で困ったことがあれば、いつでも相談に乗ってくれる優しい方がたくさんいて、きっと助けてくれると思います。

仕事で難しいことがあると思いますが、それは検察庁職員全員が通ってきた道ですので、気負うことはありません。

入庁したら、自分のペースでいいので、焦らず1つずつ、できることを増やしていきましょう。

応援しています！頑張ってください！

Dさん

検察事務官は、事件の受理から捜査等の非日常的な経験ができ、社会正義実現に寄与するという大きなやりがいのある仕事です。他にも、事務局部門や検務部門等の多岐にわたる業務を行っていますので、少しでも興味のある人は、ぜひ業務説明会に参加して話を聞いてみてはいかがでしょうか。

Aさん

御一読いただきありがとうございます。

皆さんとご一緒に働けることを楽しみにしております。

Cさん

全職員が一丸となって、徳島県の事件事故の発生、再発、被害防止のため職務に従事しています。当庁は職員の皆様が優しく温かく、快適かつ風通しのよい職場環境です。

不安なことやわからないことがあれば何でも気軽に聞いてください。

全職員が新規採用職員の皆さんの入庁を心待ちにしています。

優しい先輩が待っているよ！未来の後輩の皆さん、是非一緒に働きましょう！！



うさびよん